

平成19年度

第1回区政モニターアンケート

調査報告書

《 健康診断・健康管理に関する  
アンケート》

平成19年4月

足立区政策経営部区政相談課

## 目 次

調査の概要	2
要 旨	4
問 1 健康診断制度が変わることについて知っているか	6
問 2 健康診断をどのくらいの頻度で受診しているか	6
問 3 健康診断をどこで受診したか	7
問 4 健康診断結果をどの程度確認するか	7
問 5 健康診断結果について保健指導を受けているか	8
問 6 診断結果に改善項目があった場合に保健指導を受けるか	8
問 7 改善項目があった場合でも保健指導を受けない理由	9
問 8 健康診断を毎年受けない、あるいは全く受けていない理由	9
問 9 制度変更後、健康診断を受診するか	10
問10 健康診断費用を自己負担することについて	10
問11 メタボリックシンドロームを意識しているか	11
問12 メタボリックシンドロームにならないように気をつけていること	11
問13 糖尿病予防対策として効果があると思うもの	12
問14 糖尿病予防対策の保健指導として望むもの	12
問15 健康診断・健康管理について自由意見	13
調 査 票	20
集 計 表	25

## 1 調査の概要

この報告書は、平成19年度第1回区政モニターアンケート「健康診断・健康管理に関するアンケート」をまとめたものです。

## 2 調査目的

平成20年度から、40歳から74歳までの被保険者に対する糖尿病に着目した生活習慣病の健康診査と保健指導が保険者に義務付けられます。この実施のための計画を平成19年度に策定する上で参考とさせていただく事を目的に調査を行いました。

## 3 実施時期

平成19年4月27日～5月10日

## 4 対象者数、回答者数

対象者 161人 回答者 157人

## 5 調査方法（調査票の送付・送信方法と回答者の人数）

・郵便 122人 ・インターネット 35人

## 6 回答者の構成

(1) 地域ブロック・男女・調査方法別

	1ブロック			2ブロック			3ブロック			4ブロック			5ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	3	17	20	0	6	6	2	6	8	1	5	6	3	10	13
インターネット	2	0	2	1	2	3	0	2	2	3	1	4	0	3	3
合計	5	17	22	1	8	9	2	8	10	4	6	10	3	13	16

	6ブロック			7ブロック			8ブロック			9ブロック			10ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	2	11	13	1	3	4	2	6	8	0	7	7	3	7	10
インターネット	1	5	6	0	1	1	0	2	2	0	1	1	1	0	1
合計	3	16	19	1	4	5	2	8	10	0	8	8	4	7	11

	11ブロック			12ブロック			13ブロック			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	4	7	11	0	7	7	1	8	9	22	100	122
インターネット	2	3	5	3	0	3	0	2	2	13	22	35
合計	6	10	16	3	7	10	1	10	11	35	122	157

(2) 年代・男女・調査方法別

	20代			30代			40代			50代			60代		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	1	6	7	2	37	39	1	17	18	1	22	23	9	10	19
インターネット	1	7	8	3	8	11	3	6	9	2	0	2	1	0	1
合計	2	13	15	5	45	50	4	23	27	3	22	25	10	10	20

	70代			80代			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	8	8	16	0	0	0	22	100	122
インターネット	3	1	4	0	0	0	13	22	35
合計	11	9	20	0	0	0	35	122	157

(3) 職業・男女・調査方法別

	パート・アルバイト			学 生			自営業・家族従業			主 婦			常 勤		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	1	19	20	0	0	0	2	4	6	0	58	58	6	14	20
インターネット	0	5	5	1	0	1	2	1	3	0	10	10	5	3	8
合計	1	24	25	1	0	1	4	5	9	0	68	68	11	17	28

	無 職			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	13	5	18	22	100	122
インターネット	5	3	8	13	22	35
合計	18	8	26	35	122	157

7 調査結果・分析の見方

回答の比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が、100%に満たないまたは上回ることがあります。

記述意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し掲載しました。

## 要 旨

特に指定のない限り157人に聞きました。

問 1	健康診断制度が変わることについて知っているか (156人中)		
		知らなかった	75.0% (117人)
		知っていた	25.0% (39人)
問 2	健康診断をどのくらいの頻度で受診しているか		
		毎年受けている	53.5% (84人)
		ここ3年以上受けていない	22.9% (36人)
問 3	健康診断をどこで受診したか (82人中)		
		区的生活習慣病予防健診・節目健診	46.3% (38人)
		学校・勤務先の健診	35.4% (29人)
問 4	健康診断結果をどの程度確認するか (76人中)		
	全ての項目に目を通し、自分の健康状態を把握している	76.3%	(58人)
	全体の評価が「異常なし」であれば、		
	一つ一つの項目まで細かく見ない	13.2%	(10人)
問 5	健康診断結果について保健指導を受けているか (75人中)		
	結果の説明のみ受けている (指導を受けていない)	34.7%	(26人)
	個別で保健指導を受けている	28.0%	(21人)
問 6	診断結果に改善項目があった場合に保健指導を受けるか (69人中)		
		受ける	88.4% (61人)
		受けない	1.5% (1人)
問 7	改善項目があった場合でも保健指導を受けない理由 (8人中)		
		診療所や病院に行く時間がない	50.0% (4人)
問 8	健康診断を毎年受けない、あるいは全く受けていない理由 (69人中)		
		健診に行く時間がない	26.1% (18人)
		現在、健康だから受けなくて良い	23.2% (16人)
問 9	制度変更後、健康診断を受診するか (70人中)		
		受ける	62.9% (44人)
		その時になってみないとわからない	34.3% (24人)
問 10	健康診断費用を自己負担することについて (複数回答)		
		検査結果が充実していれば自己負担してもいい	52.9% (83人)
		自己負担の額によって健診を受ける	48.4% (76人)

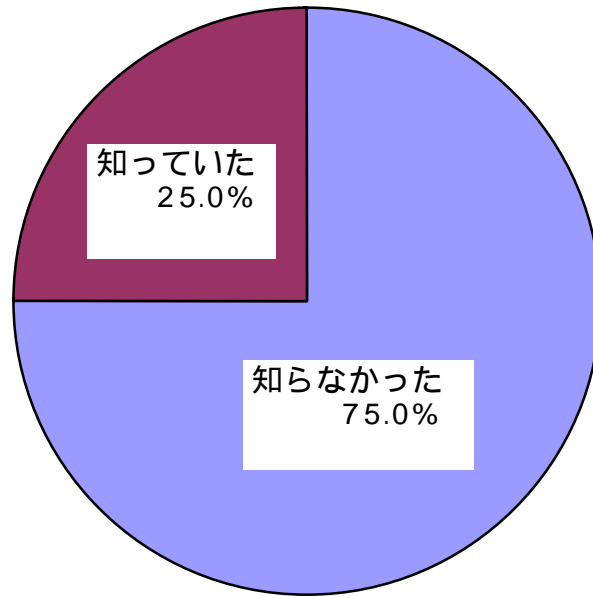
問 1 1	メタボリックシンドロームを意識しているか		
		気をつけている	74.5% (117人)
		気をつけていない	25.5% (40人)
問 1 2	メタボリックシンドロームにならないように気をつけていること		
			(114人中)
		食生活	76.3% (87人)
		運動習慣	19.3% (22人)
問 1 3	糖尿病予防対策として効果があると思うもの(複数回答)		
	糖尿病を正しく理解するための新聞・テレビなどを使った広報活動	61.8%	(97人)
	糖尿病の専門医や専門保健指導機関などの情報提供	59.2%	(93人)
問 1 4	糖尿病予防対策の保健指導として望むもの(複数回答)		
		個別指導による直接支援	65.6% (103人)
		手紙、電話やEメールなどの間接支援	45.9% (72人)

問 1 5 は記述回答のため割愛

問1 これまで40歳以上の区民を対象として、区が行ってきた生活習慣病予防健診は、医療制度改革に伴い平成20年度以降は各保険者が実施します。（国民健康保険加入者は区の健診を、国民健康保険加入者以外は加入している各健康保険組合の健診を受けます。）

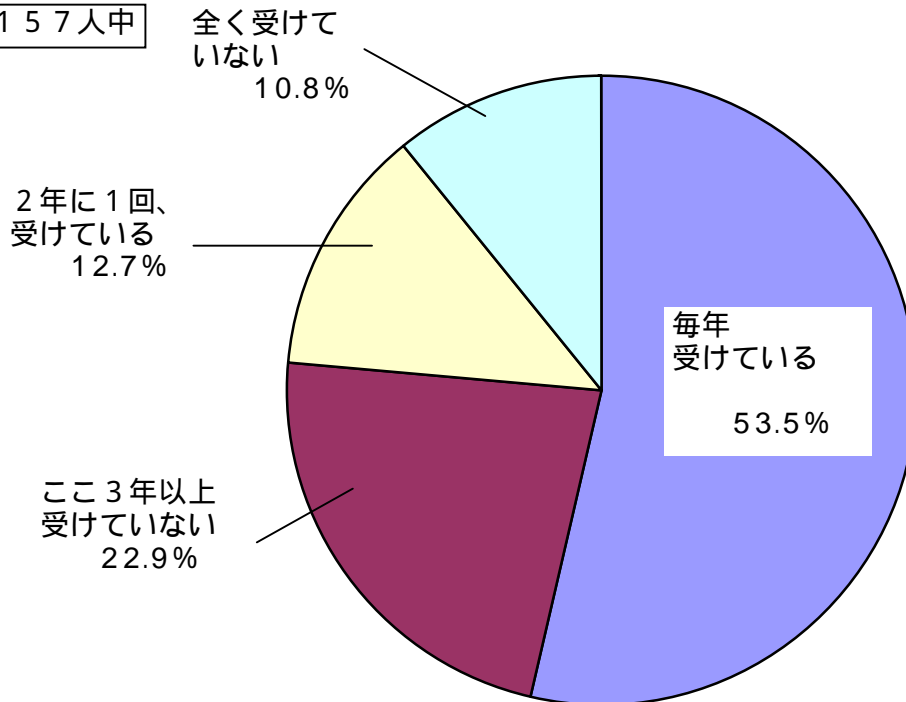
あなたは、このことをご存知でしたか。どちらかを選んでください。（は1つだけ）

156人中



問2 あなたは毎年、健康診断（以下「健診」）を受けていますか。次の中から1つだけ選んでください。（は1つだけ）

157人中

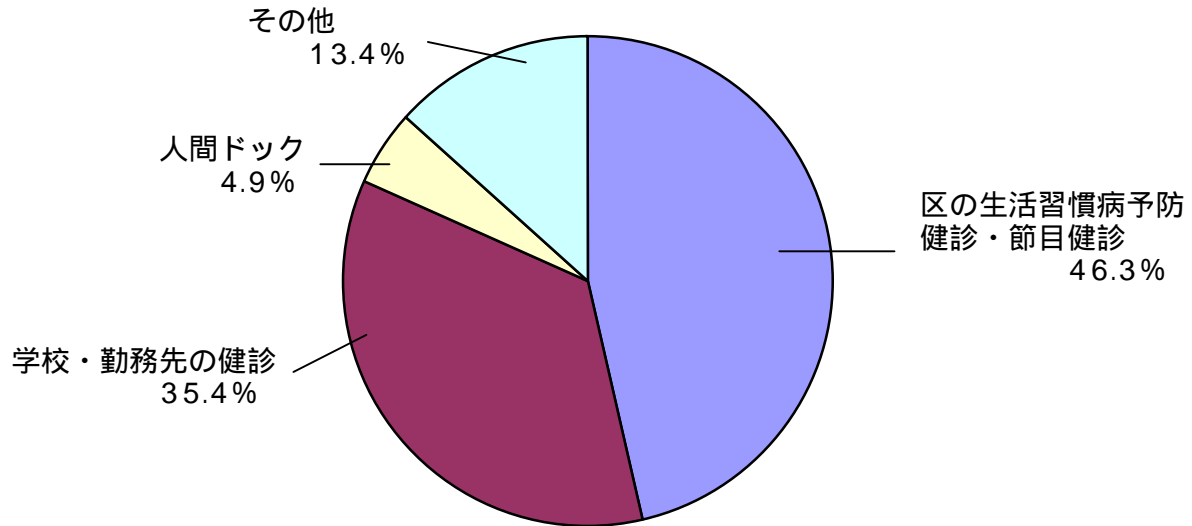


問3 問2で(1)を選んだ方にお聞きします。

あなたが健診をどこで受けましたか。次の中から1つだけ選んでください。

( 〃 は1つだけ )

82人中



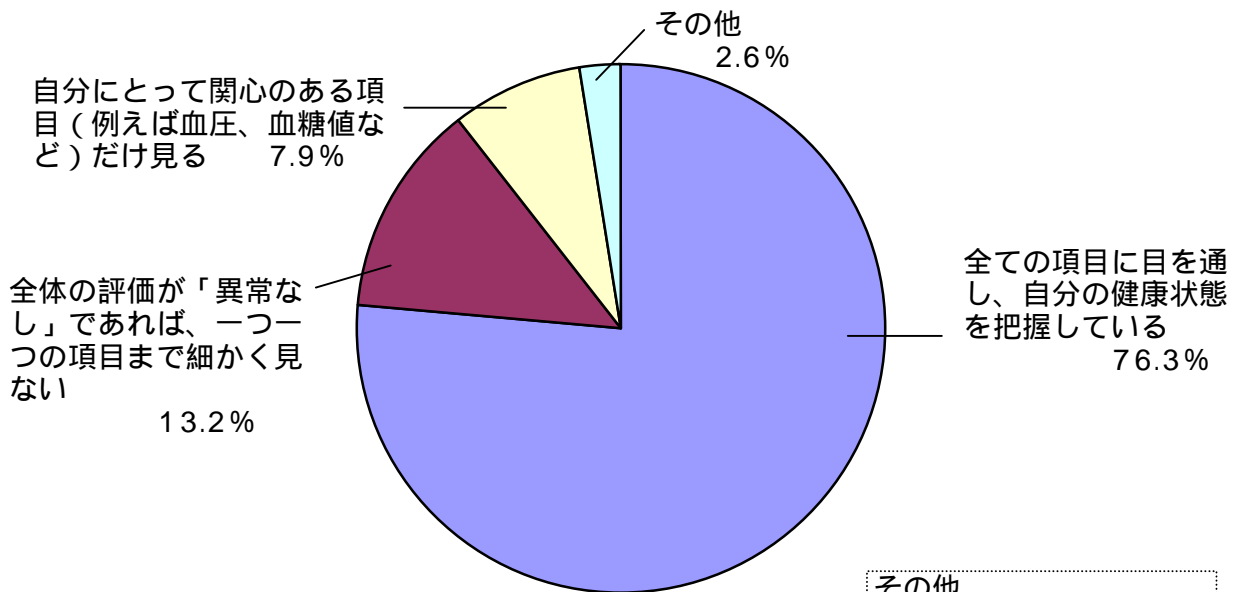
その他

・かかり付けの病院・鶯谷社会健康センター・区の指定医療機関・配偶者の勤務先の家族健診・地区内の総合病院・現在通院している病院

問4 問2で(1)を選んだ方にお聞きします。

健診の結果はどのようにご覧になりますか。次の中から1つだけ選んでください。

( 〃 は1つだけ )



その他

・気になるので余り深く見ない

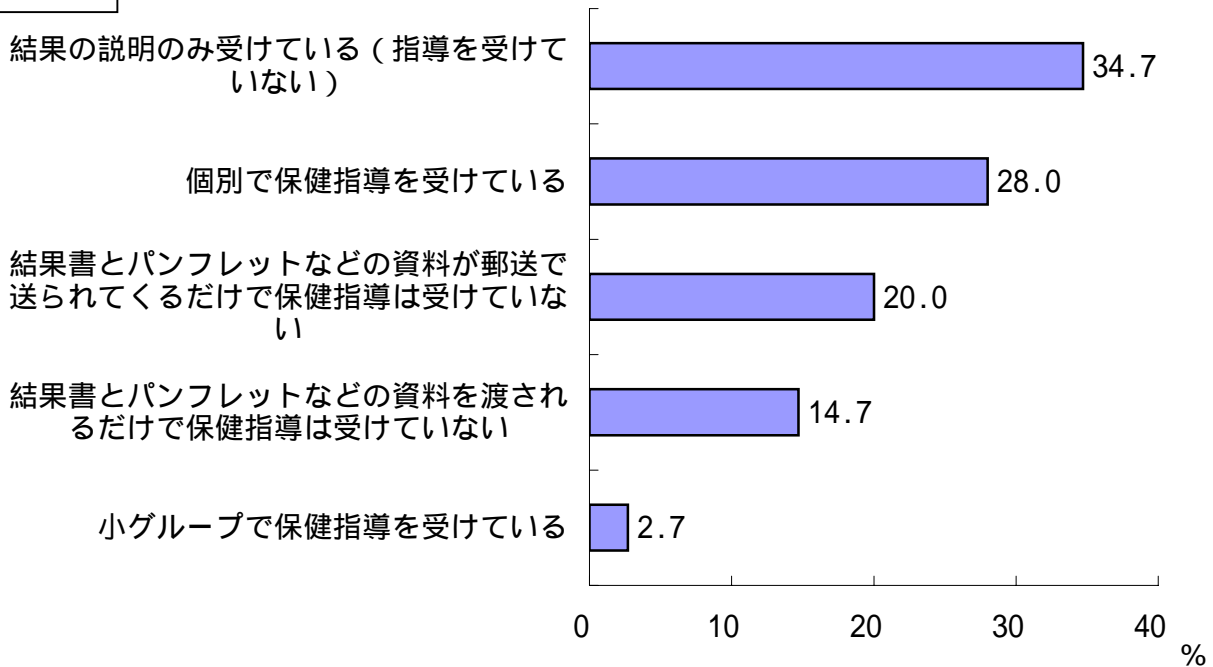


問5 問2で(1)を選んだ方にお聞きします。

健診結果やアフターケアについての十分な説明や指導(以下「保健指導」)医師・保健師・管理栄養士・看護師などの健康を管理する指導者から受けていますか。

次の中から1つだけ選んでください。( 〃は1つだけ)

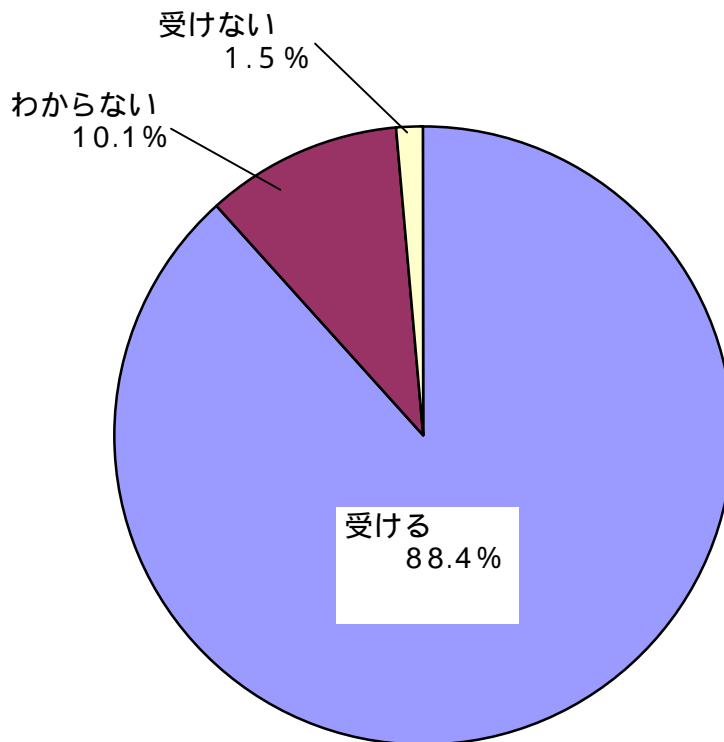
75人中



問6 問2で(1)を選んだ方にお聞きします。

(治療するほど重症ではないが)もし改善を必要とする項目があった場合、そのための保健指導を受けますか。次の中から1つだけ選んでください。( 〃は1つだけ)

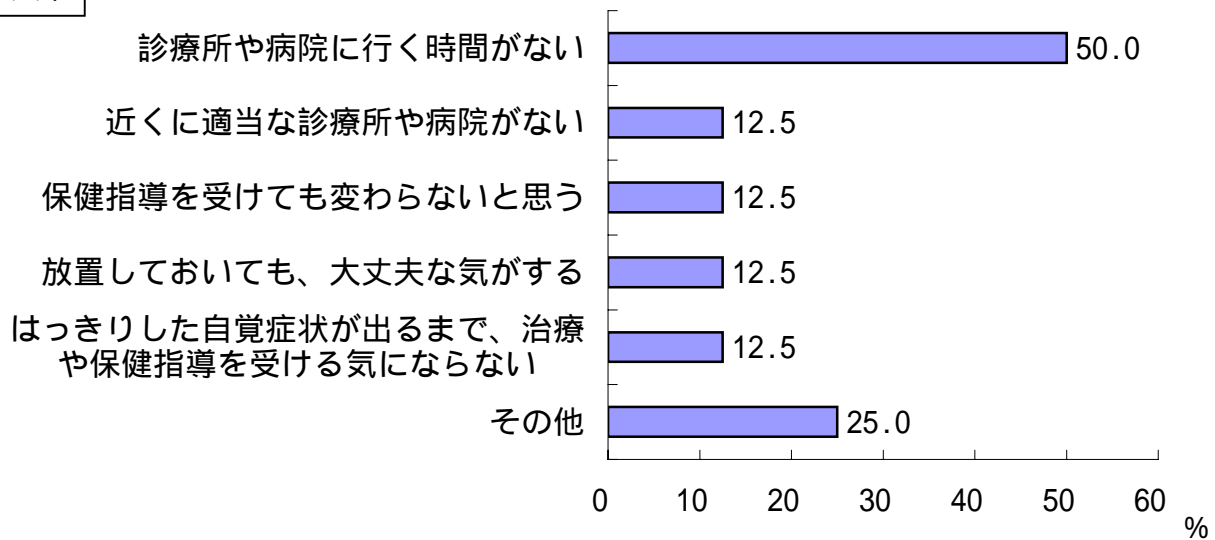
69人中



問7 問6で(2)(3)を選んだ方にお聞きします。

「受けない」あるいは「わからない」と考える理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。( はいくつでも)

8人中



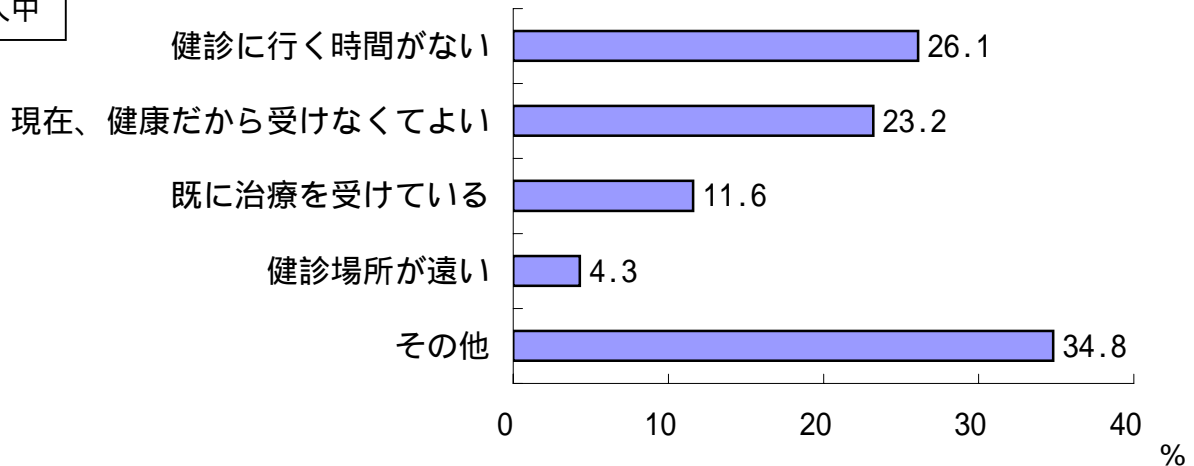
その他

・健康に対する自分なりの知識(雑誌、TVなど)を持っていて、努力もしているから  
・費用が発生する場合は、特に慎重になる。以前咳が止まらず病院で検査を受けた際、初回は何も書かれなかったのに、次回の診療費に受けていない喘息の指導料が加算されていた。抗議はしたが費用は戻らなかった。

問8 問2で(2)~(4)を選んだ方にお聞きします。

毎年健診を受けていない、あるいは全く受けていない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。( は1つだけ)

69人中



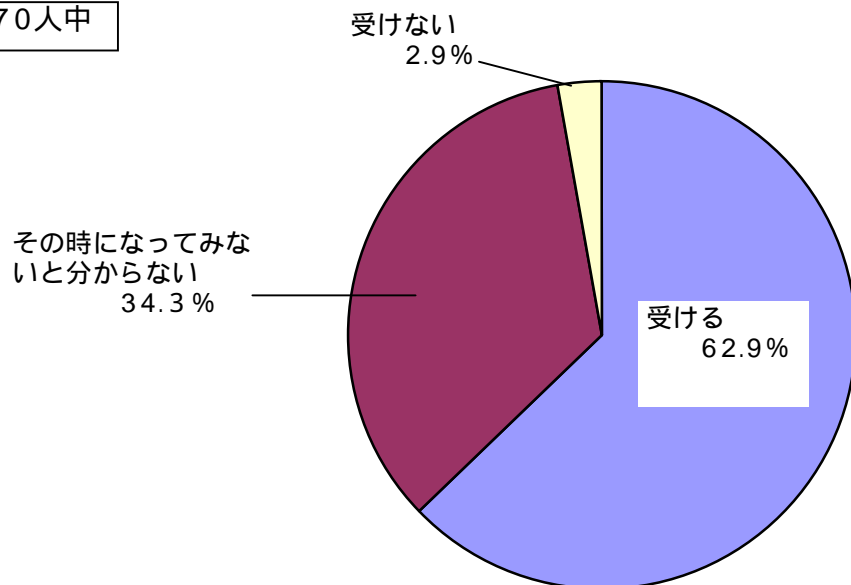
その他

・子供がいるので受ける余裕がない・費用がかかるから・区からの健診用紙が送られた時に受診。きっかけがない・会社が人手不足で行く余裕がない・健診や場所がわからない、連絡がない・隔月毎に主治医の治療を受けているため・通院先で受診しているから・強制されていないから・受診したいとは思っているがそのままになっている・会社を辞めてから受診できる環境でない

問9 問2で(2)~(4)を選んだ方にお聞きします。

平成20年度以降、保険者から生活習慣病の予防健診を受診するよう、促されたらどうしますか。次の中から1つだけ選んでください。

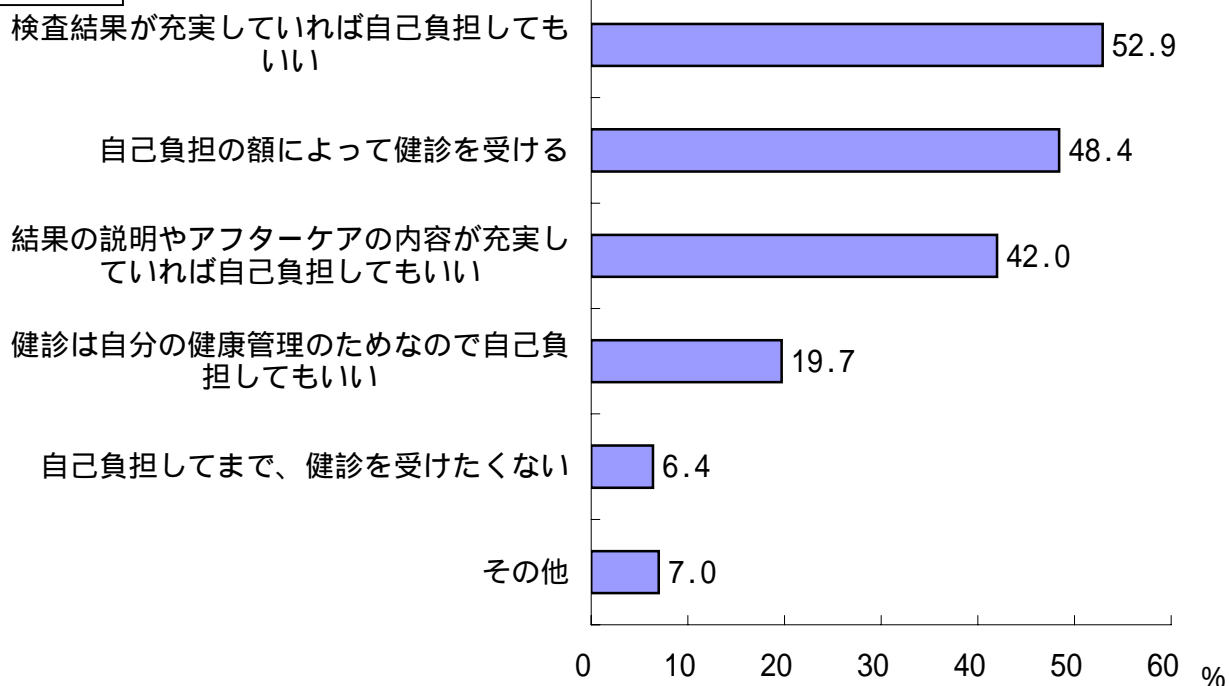
70人中



問10 全員の方にお聞きします。

健診費用の一部を自己負担することについて、あなたはどのようにお考えですか。次の中からいくつでも選んでください。( \_\_ はいくつでも)

157人中

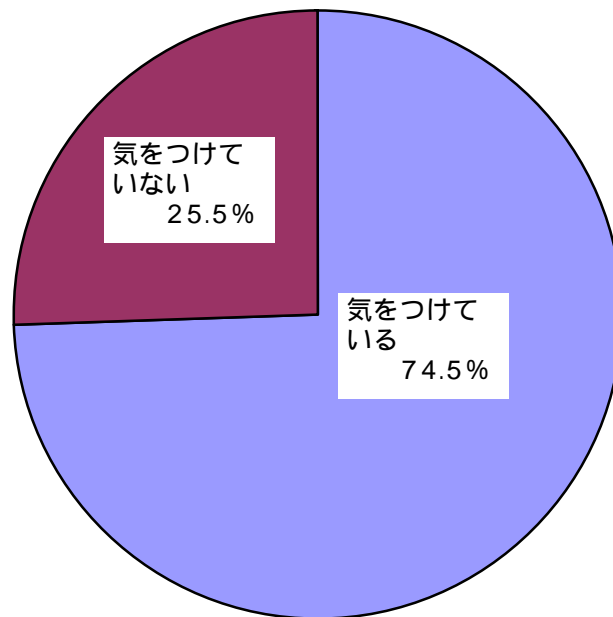


その他

・余り負担したくないけど仕方ない・無料にして行きやすいようにしてほしい・お金があれば人間ドックを1年に1回以上受けたい・主治医の健診、アドバイスを受けている・見極め検診は無料、要指導後は自己負担・75歳以上は無料にすべき

問11 腹囲（へそ周り）が基準（男性85cm、女性90cm）を超えると、メタボリックシンドロームの可能性があります。あなたは基準を超えないように、気をつけていますか。次の中から1つだけ選んでください。（\_\_は1つだけ）

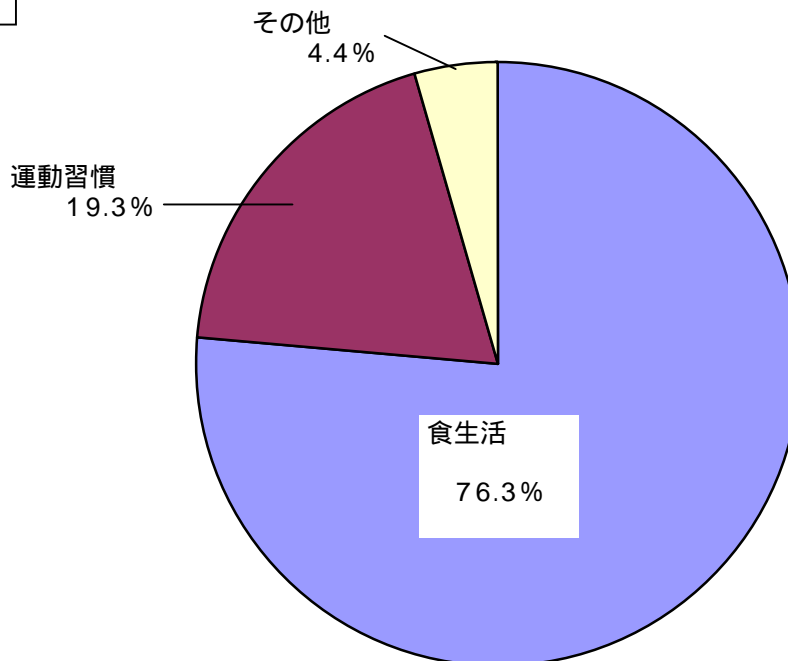
157人中



問12 問11で(1)を選んだ方にお聞きします。

あなたは、体重や腹囲の適正な状態を維持するため、日常生活で主にどのようなことを心がけていますか。次の中から1つだけ選んでください。（\_\_は1つだけ）

114人中



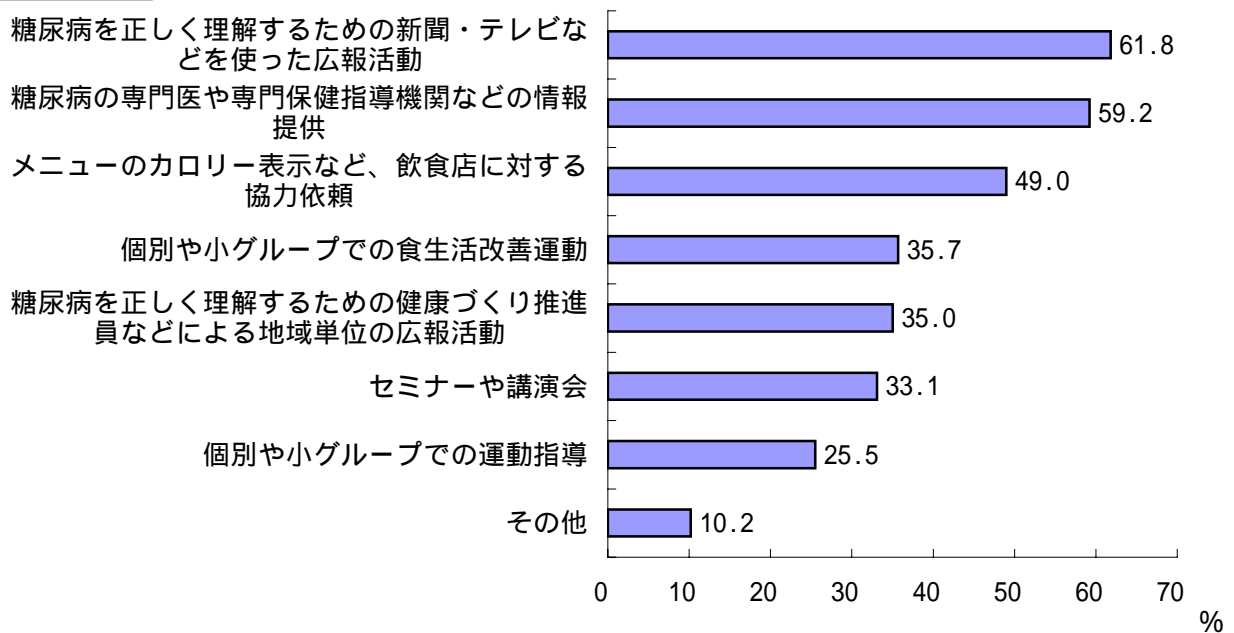
その他

・毎日体重を測っている・食生活、運動習慣双方とも気をつける必要がある・朝のラジオ体操・食事は自分で作る

問13 全員の方にお聞きします。

あなたが、糖尿病予防対策として効果があると思うことは何ですか。次の中から効果があると思う項目をいくつでも選んでください。（\_\_はいくつでも）

157人中



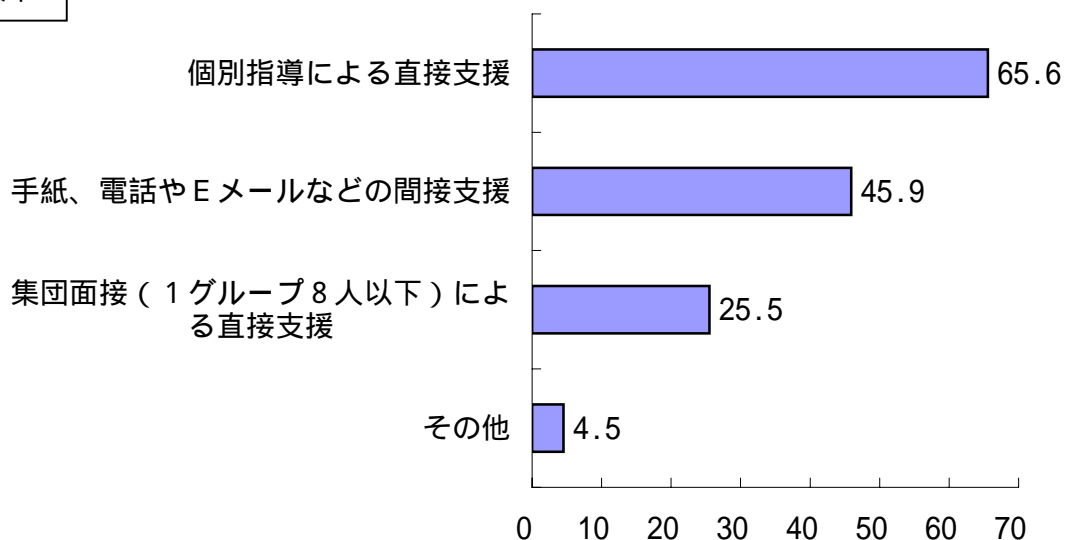
その他

・現在病院勤務という立場上、気をつけている・わかりやすく伝えた小冊子があるといい・学校でも取り上げる・老人クラブなどで積極的に取り上げる・指導だけでは意味がない、実際に運動できる場を設ける・生活習慣病ノートのようなものを作り健診時に記入してもらう・定期的に専門医のいる病院に行く・食生活の改善・本人の自覚がないと効果がない・保健センターで月2回ほど検査を実施し、その旨あだち広報でPRする・予防のための簡単でバラエティに富んだ献立表をつくる・個別相談、人間ドックのような問診必要

問14 全員の方にお聞きします。

糖尿病予防の保健指導で、あなたはどのような方法を望みますか。次の中から必要と思う項目をいくつでも選んでください。（\_\_はいくつでも）

157人中



その他

・無料で糖尿病予備軍に対しても医者から指導が受けられる制度・何も望んでいない・地域回覧板等での情報提供・集団による運動指導及び運動場所の提供・区の広報誌に生活習慣病チェックを入れる

問15 健康診断・健康管理について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。  
(自由意見)

年代	性別	問14(自由意見)
20代	女性	・性別、年齢によって基礎代謝も違うので、年齢別の情報を広報する事でわかりやすく意識(食生活、運動などに)しやすいと思います。・私は調味料(しょう油、みそ、マヨネーズ、砂糖など)カロリーオフや減塩の物を使っています。これだけでも食事を作る時に苦にならず、とてもいいです。・毎朝、体重測定をしています。それを見ていた息子(1歳6ヶ月)もマネして体重計に乗るようになりました。最近では子供の肥満も問題になっていきますから、小さい頃から習慣にするといいかもしれませんね。
20代	女性	小さい子供がいると、健康診断に行きにくい上、自分の健康管理もおろそかになります。子連れでも健診に行きやすい環境になるといいと思います。
20代	男性	健康診断は、国、企業の義務だと思います。その診断を元に個人が注意、改善し健康管理を行っていくものだと思っています。これまで毎年健康診断を受けていますが、「食生活を改善しましょう」や「定期的に運動しましょう」など、常識的(当たり前)なコメントが多いので具体的なコメント、アドバイス(何を、どのように)等をして頂きたいのです。
20代	女性	専業主婦になって3年、なかなか健診には行かなくなりました。働いていれば毎年行っていた検診。何かいろいろ情報があるといいなと感じています。
20代	女性	・少額で受けることのできる健康診断を積極的に実施してほしい。・保健センターで実施している”女性のための健康づくり”について、検査項目をもっと増やしてほしい(検眼、内科医による診断)。
20代	女性	子供の糖尿病もあると聞いたことがあり、とても気になります。子供はお菓子好きなのでどのようなものをどれくらい与えてよいものかきちんと教えていただける機会があれば助かります。生活習慣は幼児の時にきちんと身につけることが大事だと思うので、子供向けセミナーなどもあれば参加したいです。
20代	男性	糖尿病にかかわらず、正しい食事生活と運動をもっと推進してほしい。
20代	女性	今実施されている健康診断はあまり意味がないとTVでやっていましたが本当でしょうか。健診を受けることによってどのような意味があるのか、どういう風に改善できるのか、何を調べているのか、分かりやすく説明してほしい。意味がわからない結果(単位)が多すぎる。
20代	女性	私は会社で健康診断があるので、一年に一回自分のからだの状態を調べることができますが、そういった機会がなければ、自分で専門の機関を探して健診に行こうとは思わないかもしれません。全ての区民が何らかの形で簡単に健康診断を受けられるような環境を整えていただけたら、と思います。
30代	女性	やはり金額の負担が大きいと思います。就業者は会社などの健康診断があり、無料もしくは負担が少ないのに対し、専業主婦やパートなどはもし同じものを受けるとなると負担が大きくなり、負担の少ないものは極端に言えば学校の健康診断レベルのものになってしまうのでわざわざ受けなくても・という気になります。また各組織の連携が確立していないので、例えば健康診断で運良く病気が発見されても、その病気はいつ、どこで、どのようにしたらいいか、住まいの近くの専門医はどこかなど、分かりづらく、結局きちんとした病気に対する姿勢が生まれてこないのではないでしょうか？。病院、病気の悪い噂やおかしな治療方法はどんどん耳に入るのに、肝心なことが情報として流されていない様な気にもなります。
30代	男性	自己責任の問題でもあると思う。病気になって困るのは国の財政だけでなく、自分であったり家族であるから。その点を、もっとしっかり啓発すべき。
30代	女性	未就園児がいるので、なかなか健康診断に行けません。よほどひどい風邪をひいたりしない限り、子供を預けて受診することもできないような状態です。健診時に託児のシステムをつくってもらったり、土日祝日などに健診が受けられるといいのに、と思います。
30代	女性	子供を出産してから健康診断をうけなくなってしまった。子供をどこかに預けなくてはと思うとついつい受けるのが面倒になってしまう。
30代	女性	常日頃、健康診断は受けたいと思っているが、現在健康なだけに費用をかけてまで出向くのは困難である。主人の会社の健康診断で家族は一緒に受けられないのか、人間ドックなど割引システムはないのか。簡単な内容の健康診断は区からよく行っているようだが、あくまで簡単なものと思われる。もっと無料で診断の内容を広めてほしい。

30代	女性	健康については皆さん関心のあることだと思います。食生活についてはそれぞれ実践していることも多いと思うのですが、運動となると、時間が取れなかったり、小さい子供さんを連れて運動施設へはなかなか行けません。運動施設の利用の充実を希望します。又、区の施設だけでなく区内のスポーツクラブなども割引サービスで利用できると嬉しいです。
30代	女性	国、地方、個人の役割をはっきりさせる必要があると思います。病気になったらお金がかかるシステムに変更して、反対に予防にはお金がかからないようにする等の制度変更も必要では。
30代	女性	自治体 医療保険者が実施主体となることにより、多くの検診をする人が増加するならば良いことだと思います。最近、TV、雑誌にも話題になり「メタボリックシンドローム」という言葉は認知度が高いと思われるが、メタボリックシンドロームに健康診断の必要性を感じている人は少ないと思う。私個人の解決策を考えてみました。問題は 意識の低さ 金銭的に困難、時間的に面倒くさい。 に対して、講演等の指導、講演に来ることができるのは限られた人が多いと思う。例えば会社員は時間的に難しいし、子育て中の主婦は託児室が設けてなければ無理。老人も健康、距離等の問題がある。 - a 今までの講演に加え、個別指導も実施していただければと思う。保健所の指導、又、希望者にはTelやMailを手段とした一定期間の指導が望ましい。 - b 社会自体、会社の健康管理の意識が低いので指導が必要。そうすれば必要以上の残業も少なくなるし、(1年に1回の健診をしない会社組織が多い中)健診にお金をかけたか、勤務時間内にも平日の健診を受けに行く配慮が考えられると思う。 本当に予防によって医療費削減を目指すなら健診を「国民の義務」にすればよい、と思う。生活習慣が大切なら健診年齢を引き上げる(40歳では遅すぎる!)。30歳もしくは35歳は一部負担(できれば無料)。家庭の主婦に健診指導すれば食生活の改善を図られて一家庭の予防となる。土、日も健診を受けられる機関を設け、もしすでにあるのならしっかりとPRしてほしいです。宜しくお願い致します。
30代	女性	仕事と生活の中でなかなかゆとりがもてず、健康管理をおろそかにしがちですが、体調を崩して健康のありがたみがわかるものです。日頃から気をつけ、保健指導・第三者からの助言があれば継続的に管理できるような気がします。
30代	女性	健康診断を行うことはとてもよいと思うが、無料の健診がもっとたくさんあれば体の事がわかり自分で管理する事が少しはできるのか、と思う。
30代	女性	健診は受けたほうが良いとは思いますが、専業主婦の立場では、何らかの働きかけがない限り、自分自身の健康のことまで手がまわりません。夫は職場で健診がありますが、私自身は毎日家にいてとても狭い世界の中で生きているので、周囲にやせた、太ったなどの指摘もありませんし、数字にも表れないので気にしていないし、気にする材料もありません。年に一度でも区のほうから健診の誘いでもあれば、とも思いますが、気がつけば時間が経っていたという感じです。保健所では子供のことはとても気にかけてくれますが、親である私達の健康のことはあまり気にかけてくれない気がします。
30代	女性	万歩計を配布するとゲーム感覚で歩く人がかなり増えると思います。私の周りの人もそういう人が多いです。
30代	女性	健康診断を始める年齢を、もう少し早くからやってほしかった。
30代	女性	健康診断等で病気が見つかった場合、アフターケアの一環として区内又は都内の専門医(病院)を紹介してもらえるシステムがあると良いと思います。引っ越してきたばかりでなじみがないとどこに行ってもよいのか分からなく、良い病院を探すのも案外むずかしくストレスになるので。
30代	女性	糖尿病予防対策として、個別での食生活改善指導が有効だと思います。その際、家庭で調理をしている者も同席し、どのような食生活を送っているか、どう改善するかを一緒に話し合うのが良いと思います。(夫の健診結果を妻同伴で聞いてもらう、など)
30代	女性	糖尿病などだけでなく、最近は乳がん、子宮がんの若年化が進んでいるので、年齢を下げたり、2年に一度だけでなく、毎年受けられるようにしてほしいです。自費で受けるととても高額です。
30代	女性	現在、持病があり通院していますが、一般的な成人病の健診は、来年40歳になるのでそれから受けるつもりだったのですが、もう実施しなくなるのは残念です。被扶養者だけでも実施していただきたいです。
30代	女性	節目健診ですが、健診日が平日しかないのも、とても不便に思います。土日をつけ加えてほしいです。
30代	女性	今の所、私は主人の会社が行ってくれる主婦健診というのを年1回受けています。とても安い料金で全部調べてくれるので助かっています。こういう制度がない人はなかなか受けにくいと思います(特に主婦)。
30代	女性	日頃はパートに行くときに自転車で通勤しているくらいで、運動不足を感じています。区の施設(スポーツセンター)などが千住地区にあればもっと気軽にに行けるのにとおもいます。



30代	女性	確かに無料であるのは助かりますが、近年、女性の健診、子宮や乳ガンが制限があり受けたい人が多く周りで見られます。もっと受けやすくしてほしい。特に主婦は人間ドックの機会がない場合があるのでは。
30代	女性	勤めていた時に会社で受ただけで、仕事を辞めてからは健診を受ける機会がなかったので、専業主婦のために(無料)または低料金で受ける事ができる健康診断を増やしてほしいです。
30代	男性	区で行っている健康診断(主に大人を対象としたもの)自ら自発的に申請しないと出来ないものを廃止して、区から必ず受診票を送付してほしい。赤ちゃんや子供と同じように…。そうでないと忘れてしまう事も多いし、知らない事も多い。意識の持ち方も変わるだろうし、早期発見にもつながる。
30代	女性	自己負担でなければ受けようと思う。区や国で出してくれると良いと思う。
30代	女性	自分の健康だから気を付けているつもりですが、つもりで終わってしまっているかも…。家族の事も食生活でしか見てあげていないのが現状です。
30代	女性	子供がいても健康診断を受けやすい環境を作って欲しい。
30代	女性	最低、健康診断は必要だと思う。特に40代に入ればなおさらそう思う。
30代	女性	主人の腹囲が85cmをこえたりこえなかったり…。という状態でメタボリックシンドロームにはとても関心がありますが、なかなかうまくいきません。いろいろな指導やセミナーがあるといいなと思います。
30代	男性	健康診断については手続き、時間等もっと受けやすく簡単にできると良いと思います。健康管理については本人の自覚が一番の為下手に呼びかけるより、気になったら相談できる体制の充実があればよいと思います。
30代	女性	健康診断の内容の充実を望むと共に年齢で区切る事のない検査も必要なのではないかなと思う。最近では女性に増加している子宮の病気や乳がんについての区の健診も増えると良いと思う。
30代	女性	自分の健康管理は自分で行うものだとわかっていても、運動など始める取っ掛かりが持てないでいます。もっと、もっと病気についての正しい知識など見聞を広め、努力したいと思いました。
30代	女性	健康に関して興味を持ち成人病予防に気をつけている人と、全く気にせず健診を受けない人がはっきりしている、と思う。後者の人たちがいかに興味を持ち、自分のことと自覚するよう働きかけが必要と思う。健診の自己負担が多ければ受ける人も減ると思う。
30代	女性	健康診断は自分の健康の為だが受診しやすいよう安価であって欲しいです。
30代	女性	私は看護師なので、一般の人と同じ考えにならないと思います。ですが、大事なのは本人の自覚だと思うので、順番にまず、健康かどうかのきっかけ、そしてそのきっかけを与えてあげられる情報が最初で、次に自覚へとつながっていくのだと思うので、きっかけの情報は大切だと思います。
30代	女性	子供が生まれてから「早寝早起き朝ごはん」と適度な運動(子供と散歩)でリズムが整った気がします。
30代	女性	40歳以上の方は糖尿病のテストが手軽にできる試験紙のような物を無料で送付してほしい。
40代	女性	今年初めて区の節目健診を受けました。無料なので受ける人も多いと思いますが、女性の子宮や乳がんなども別日程でもいいので、無料になれば受ける人も増えると思います。
40代	女性	医療にかかる費用は高齢化とともに増加する一方で、将来の負担は危機的になっています。「健康はお金で買ったり人からもらうものではなく、自分の力で得るものです。」特に高齢者は運動や食事に関する知識を高め、予防に努力した方がよい。早期から病院に集まり高齢者のサロン化している病院には疑問も感じます。
40代	女性	病気にならないと健康診断を受けておけば、と後で後悔します。節目健診はいい、と思いました。医療費は高いと感じます。なるべく負担の少ない受け方を希望します。
40代	男性	口の中に入れる物、食の安全性をもっと行政や個人商店などが考えなければいけないのではないかな。不二家に始まった食物への不信感を無くさなければ続々と出るお詫び広告、健康を守ると頑張っても口に入れるものに害がある物が含まれていては人の健康はどんどん維持できないのではないかな？
40代	女性	気軽に健康について聞くことが出来る今回の制度から一步踏み込んだホーム保健師さん制度が出来ると良いと思う。病院へ行く前の段階で個人「素人」判断でなくプロの適切なアドバイス判断で個人が行動をとれば無駄な医療費等の削減につながるのではないのでしょうか。
40代	女性	私はテレビ、新聞などで、これは健康に良いというとなんでもやります。運動、食べ物など、飽きたら無理しないですぐやめます。長く続きそうだと思うときには続けます。インターバルでも続けます。
40代	男性	朝のラジオ体操の広報に尽力していただき、地域のコミュニティの充実を図り、それと同時に健康維持のための政策をとってください。



40代	女性	健康について考える時は多いが(特に中年なので、メタボリックシンドローム等には関心ある)仕事、家事に追われてなかなか、健康についてのセミナーなどがあるが平日が多いため参加できないし病院も土曜日などは午前中のみ診療なので、時間が合わずに行けず、次回へと後回しになってしまう。
40代	女性	今、病気を持っています。自分が病気になり健康のありがたさを痛感しています。以前は健診を受けていなかったことが悔やまれます。自己負担が少ないといいですが自分に自信がある方は時間を使ってまでいかないのでは…。
40代	女性	毎日の食生活をきちんと心がけております。1日3食きちんと食べる指導と具体的な食品のカロリーがわかって、カロリー計算ができるような栄養的なことも教えてくれる場所がありましたら教えていただきたいと思います。
40代	女性	区的生活習慣病予防健診を受けても(当日は休みを取って)結果を聞きに行くのに行けない。本人でなくとも家族のほかの人にはなしていただけるといいのですが。
40代	女性	健康管理について、食生活、運動習慣、良い眠りが大事だと思います。運動はからだを動かすと心のストレスが軽減し、筋肉がつけば基礎代謝が上がり太りにくい体質となり、快眠が得られると思います。未病でおさえられ病院にいかなければ医療費を削減できるでしょう。区民の健康な体づくりに運動施設(特にプール)が増えたらと希望します。プールは年配の方でも歩くだけで水圧がマッサージとなり、ヒザに負担がかからないので地上より楽に歩けます。(水位は低めのほうがいいと思います。小柄な方が多いので、手すりもつけると良いと思います。区のプールは深くてこわいとおっしゃっている年配の方が多いので…。区で保有している土地もありましたら区民の健康の増進のために活用されたいと思います。
40代	女性	職場で年1回行っている健康診断には胃の検査(バリウム等)が行われていないため、結果胃の病気が不明で大変不満です。自己負担して再度健診を受診しています。人間ドックならば言って下さるのですが…。
40代	女性	健康は本人や家族が気をつけないと保てないと思うので、周りが喚起して本人に働きかけていかなければならない。
40代	女性	生活習慣病以外の検査も今まで以上に詳しくやってほしい、と思いました。
40代	女性	食生活・運動・休養、これはかかせないものだと思います。心・体にゆとりのある生活を送ること(送れるよう)努めています。
40代	女性	生活習慣病健診が平成20年から変わることを知らなかったので周知したほうがいいと思います。
40代	女性	毎日の食生活が大切だと思うが、簡単にできるカロリー計算や注意しなくてはいけない塩分などがわかるガイドブックのようなものがあるといいと思う。これは健診で問題があった人に配布できるといいと思う。健診が受けやすくなるよう、該当者に積極的にお知らせすることが必要だと思う。平成20年度からは結果重視の保健指導になるという点はとてもいいと思う。
40代	女性	なりたくて病気になった人なんていないと思うので、予防も大事だけど、糖尿病を患っている方への配慮できるように、もっと知識をもちたいと思う。
40代	女性	仕事の都合もあり、土曜、日曜に健康に関する相談会などがあると参加しやすい。
40代	女性	とても不公平だと感じるのは、障害者は医療費ゼロということ。人格障害者がちょっとでも体に異常を感じると病院に通院していた。どうみても何でもないが、無料だから安易に通院やら入院を繰り返していた。また先天性の重度障害者(特に先天性)場合、持病に起因する症状、また収入が少ない家庭の子が無料になるのは当たり前だが、非課税で豪邸に住んでいる家で、食当たりだの、水虫治療やものもらいでも医療費が無料になるのはおかしい。一生懸命働いて、体を壊す人や、収入が少ない家庭の子供たちに負担がかからないように回してほしい。障害者を一律に控除するのはもう勘弁してほしい。生活習慣病の場合もポイント制にして生活に問題があって疾病したら加算ポイントを設けるべきだ。そういう人たちのために税金が湯水のように使われていくのを見ていて、あっけにとられた(ヘルパーなりたての頃)。
50代	女性	健康診断料の負担は所得に応じて金額を決めたらいいのでは。
50代	女性	区健康診断は年に1回実施されていたと思うのですが、できれば年に春と秋にやっていただけたらと思います。現在は会社の健診を受けていますが60歳からはなくなってしまうので来年からは区の医療機関を利用したいと思います。運動不足解消のため公園や遊歩道をたくさん作ってもらいたい。各家庭ですぐ見られるカロリー表示をチラシにして配ってもらいたい。
50代	女性	健康が一番大切なもの、その管理がうまくいけばこれほど良い事はない。これからもどんどん注目していくべき。
50代	女性	まず、予防に心がけることが大切と考えます。
50代	女性	健康診断は毎年受診していますが、内容(結果)を良く見るようにしています。10年程前に大病をしたので健康に気をつけています。また、独身なので特に健康には気をつけています。

50代	女性	健康診断は区のお知らせを見て2,3回行きましたけれど全部無料ではないので全部受けられませんが、お金に余裕のある方はいいのですが私のようにお金に余裕のない方は困ってしまいます。本当は全部受けたいです。
50代	女性	健康診断は自分のためにあると考えています。企業(中小企業)では節税のために民間の保険会社に参加する為に、データ欲しさに健康診断をするところがあります(数値を変えたりして加入する)。その場合は、何が何でも会社での健診は避けたいと思っています。その為に勤めている人でも区の健診はありがたいと思います。
50代	女性	自己負担はできるだけさけてほしい。今でも行かない人がいるのに負担が増せばなお減って健康管理の1つとして最近の食物の栄養素の分類表が知りたいです。(カットされた野菜や日数のたった野菜などは新鮮な野菜に比べて栄養価の値が少ないと思います。バランスよく摂るにはどんな風に組み合わせればよいのか、例を示したものでも表示してほしい。)
50代	女性	今まで通り健診は自己負担なしでやってもらいたい。
50代	女性	毎年、人間ドックを受診していますが、たまたま2年前節目健診(50歳)の通知をいただき、折角なので受診、便検査でひっかかり、ポリープが見つかりすぐ切除していただきました。結果は陽性で、経過観察で再度内視鏡検査を受診しましたが全く正常な腸に戻りました。節目健診を受診して本当に良かったと思いました。主婦が健診に対して意識が薄いので、区の広報などで健康診断の方法が変更になることを通知していただきたいと思います。
50代	女性	費用がかかる項目について一部だけ負担するかたちならもっと受けると思います。専業主婦も節目健診だけでなく自由に受ける事が出来たら良いと思います。
50代	女性	私は現在国民健康保険に加入しております。誕生日健診は必ず受診しておりますが脳ドック等の受診を是非受けられたらいいと思っております。宜しくお願い致します。
50代	女性	一昨年の健康診断でコレステロールが基準値を超えていました。今年もう一度健康診断に行こうと思い、歩くことと食生活の改善に努力しています。
50代	男性	現在、病気になり健康診断の大切さが身にしみています。病気になる前は自分の健康を過大評価し、私は大病はしないと過信し、健康診断、管理をおろそかにしていました。
50代	女性	多少の自己負担があっても区内の医療機関を利用して人間ドック並みの健康診断を推進してほしい。又、予防を充実させる為に、各地域にスポーツ施設を造り内容の充実を図ってほしい。スポーツ施設の場所としては、廃校になった小中学校等の利用。
50代	女性	第一に地域における健康診断の交流。現状では広報で時たま目に触れるが必ず見るわけではない。一度健康診断の郵便物を受けたが多忙で選択肢が限定され、利用できなかった。第2に病院へ行かなくとも健康診断巡回車を購入し、足腰の弱い人でも健康診断を受けられるようにしてほしい。
50代	女性	健康診断は病気を発見するには今までのままで良いと思うのです(年1回)。しかし、メタボリックシンドロームだけを診るとレントゲンとか見なくなるのではないかと思う。未だに結核とかかかる人がいるのでそちらの方が心配される。
60代	女性	(街の薬剤師さんについて)医者にかかって処方箋を持って薬局へ行きますが、白衣を着た薬剤師の方の髪の毛が気になっています。公私混同しているように見えます。ほとんどの人が髪の毛を長く、仕事中は髪をたばねている(しばっている)。上の方から注意をすることも大切なことと思います。(今の時代は教育係が存在しないことが残念です。)
60代	男性	健康管理は自分自身の責任であると思うのでこれからも気をつけていきたいと思っています。糖尿病には特に気をつけていきたいと思っています。
60代	男性	健康診断:結果の説明をくわしくしてもらいたい。健康管理:同好会等に入って運動しているが使用料が有料のところと無料のところがある。これは不公平ではないか。改善を要望する。(有料の例:住区センター、無料の例:小学校の体育館等)
60代	女性	健康診断、健康管理は定期健診を受け日常生活を安心して過ごせる様、各自が努める事が大切だと思います。飽食時代と言われるようになって患者が増加しており、老人特有の骨の病が多いのも問題点です。人間の身体も油が切れると気持ちも弱くなり健康管理への心構えも失いつつ有ります。粗食、無理のない程度の運動(自己流)手洗い、うがいをまめにし、予防することが大切だと思います。
60代	男性	健やかで、健康な生き方は、自己管理以外のなにものでもない、自らが予防に努め、日々過ごすことが大切。折前に広報やときめき等の情報をチェックすることが必要です。リタイア後の人生は自分で守るべくもっと健康に対する自覚を身につけることが大切だと思います。それ以上は行政もやるべき事はなく無駄だと思います。その事は他の、教育や文化面、福祉についても云える事だと考えています。(但し、要介護者は別途、地域の福祉の個別指導が必要)

60代	男性	自分の健康は自分でしか守れないのです。食生活と運動(自分にできる運動)を通して自分の健康管理を自己責任に於いてするべきだと考えます。とにかく予防医学を第一にすることだと思います。また、ちょっとした体の変調にきずいたらすぐホームドクターに診てもらおうこと。
60代	女性	健康診断の検査結果は病気を見つける手段になりますが、結果が良いからと安心することなく、過食をせず、日常的に体を動かして心身のバランスを取ることが必要かと思います。
60代	男性	年々増大する医療費を抑制するためには、区(国)民一人一人が注意しなければならないと思います。たとえば、タバコ(課税はされていますが)を吸って自らの健康を害し、結果として、何らかの形で医療支援を受けることになることは、理屈の上では医療費圧迫の遠因になると思います。社会全体が健康への思いを高めることが大切だと思います。区のご尽力に感謝いたします。
60代	女性	大勢の方に受けていただけるよう掲示したり区民センターなどの集いの場を持っていただければと思います。軽い運動などしたらどうでしょうか。
60代	男性	・自己管理が誠に重要です。・小生の経験でも仕事上・・・など自分を忘れることが度々あり、自己管理を促すことがもう一つでした。・若い医師の事務的な指導はインパクトがもう一つです。知識優先は”習慣”には遠い気がします。・老練な医師や患者同士などの話し合いや会合・・・が有意義に思います。
60代	女性	私は規則正しい生活が最も大切だと思います。食生活(カロリー)運動等自分自身で正して、私はこの二十年体重も変わらずにあります。気功法、徒歩、体操を取り入れており風邪も引くことなく元気を保っております。特に睡眠をしっかり取り、朝早くAM5:00に起きております。体も軽く動くことが苦にならないです。
60代	女性	TV、新聞等では健康管理について取り上げていますが、地域としての指導は余り目にしません。特に食事についての指導を文書にして配布してもらえると良いと思います。(私が気がつかないだけかもしれませんが・・・)
60代	女性	老人が多くなる今日この頃、安心して散歩の出来る場所(スポーツセンター散歩道)、足、腰の悪い人、リハビリを目標として、寒い中がんばっている姿を見ている一人として、どんどん緑化の自然を多くし住みやすい場所になる様に町づくりをお願いします。
60代	女性	毎年高齢していくわけですが、健診時の持ち時間が長いですね。(診察まで、検査室での持ち時間)半日がかりになります。何か工夫はないものでしょうか？
60代	男性	糖尿病ですが、自覚症状がないのでヶ月に一回の検査は欠かさず行っていますが薬代が結構かかります。70歳になろうとする現在、今後のことが心配です。
60代	男性	少子高齢化社会では医療費の増加は社会保険の年金と並んで皆保険制度の課題です。平成20年度から特定健診と保健指導は生活習慣病や三大疾病の早期発見に役立てていただき、健康の向上と医療費の抑制に結び付けていただきたい。
60代	男性	高齢になってくると自分から気軽に受けにくくなっていくので、周りからの勧めが必要だと思います
60代	女性	病院へ行っても悪いところしか診てくれないし、又同じ病院でも科が違ふとあっとこつと時間等大変ですので健康診断は年に一、二回受けたいと思いますが、ある程度の中で数字まあまあだとそれで終わってしまうのが多いので、受けてもどうかと不安もあります。ちゃんとその中でも説明等がほしいと思います！。体重が少なくても中には色々な病気もあると思います。太っているからとばかり考えてほしくないですね。
70代	女性	予防健診はとても良い事だと思います。
70代	女性	毎年誕生日前後に自分から区にお願いして用紙を送っていただいておりますが、各個人がそういう習慣を身につければいいと思います。
70代	男性	健康を維持していくためには、一人一人の意識の問題が基本です。病気にならないために、自分がしなければならない事は何か！、考えることです。毎日の食生活、運動、前向きな目標など、明日に向かって希望を持つとする気持ちが必要です。何でも知ろうとする意欲を持つことでしょう。区もその力になって、何をすべきか、広く問いかける努力をしてください。
70代	女性	生活習慣病が増えている。現在、食生活のこと、運動のこと、区が啓発活動をしてほしいです。片方では国民健康保険料が高くて払えない人がいます。誰もが安心して老後の医療にかかれるようにしてほしい。高齢になると病気が2つも3つも重なることもあります。
70代	女性	自分の体質を認識して日常生活をすることと思っています。特に食生活をどうするか注意することだと思います。ストレスをためずに生活をする様に心がけています。
70代	男性	・健診結果後の経過観察などフォローアップをお願いしたい。・地域の人々が集まる会(自治町会、老人クラブなどの総会)などに血圧測定などして、自分の体は自分で予防する啓発事業を実施したらよいと思います。

70代	男性	健診:今までの血液検査による各項目の数値は健康管理上大変役に立ちました。今後の見極め健診の項目及び結果も誰が見ても分かるようなものであって欲しいです。健康管理:とにかく食生活(片寄らず、食べ過ぎず)と自分にあった運動(ウォーキング、スポーツ)に努めること。今年1月～3月、高齢者筋トレ事業に参加させて頂き結果が大変良かったです。指導者の方も優秀で参加することに張り合いを感じました。今後継続して行えるよう施設の増加を希望します。
70代	男性	・健康診断は病院(医院)にまかせる以外にないが、“まち1時間、診療3分”を改善すべきでしょう。 ・健康管理は自己の健康状態をよく知ることであり、特に食生活に重点を置くことです。
70代	女性	日常生活において困った時や体の不調の時は、地域包括支援センター等に相談する様になっています。高齢な為、又一人住居なのでなるべく地区の方、早めに区役所等へ連絡していただく様にしたいと思います。地域包括支援センターの方が心配りを良くしてくれます。
70代	男性	三度三度、きちんと食べるように。酒に吞まれないように。つまるところ、いい加減な食事が生活習慣病になっている。年を取ったら粗食が良いという誤解が広まっている。元気なお年寄り、肉も魚もきちんと食べている。
70代	男性	平成20年度からは、生活習慣病予防のためだけの健診になってしまうのですか?。他の病気の健康診断はどうなるのでしょうか?。(3)の資料からは判断できません。
70代	女性	どんなに高齢になっても生涯健康でありたいと思っているので、せめて5年間隔で75歳、80歳、85歳くらいまで健康診断の連絡は欲しいと思います。
70代	男性	悲しいかな、人間はその事態に至って初めて事の深刻さに思いを致すものです。健康管理も同じです。日頃の心構えと、それに伴う実践こそが大切だと、つくづく思います。
70代	女性	私個人としては食事に気をつかい、運動をしてメタボリックシンドロームにならないようにします。医療費の増加に歯止めをかける為に予防健診、保健指導等は費用の一部を自己負担しても行ってください。今体操をしています。場所が狭いので小学校等の利用を活用できるようにしたいと思います。
70代	男性	従来のように年に一度無料健診をしてもらいたい。
70代	男性	血圧計の設置について各住区センターで未設置の個所は完備願いたい。
70代	男性	高齢者の健康診断や管理のための費用の有料化は反対であり、介護、国保等、値上げされることばかり。おまけに病気になっても安心して療養が出来ないという現実が有るようですが、我が足立区ではその様な事にならないように特に要望します。
70代	女性	前に保健所でメタボリックシンドロームの健康講座を受けましたが、とても役に立ちました。その時、頂いたアドバイスを、十分とはいえませんが、実行するようにしています。ちょっとした健康や病気について、気軽に相談できる窓口があったらと思います。

## 集 計 表

( % )

「健康診断・健康管理に関するアンケート」	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
回答者数(人)	156	35	121	65	91
問1 健康相談制度が変わることについて知っているか <span style="float: right;">N = 156</span>					
(1)知っていた	25.0	37.1	21.5	13.8	33.0
(2)知らなかった	75.0	62.9	78.5	86.2	67.0
回答者数(人)	157	35	122	65	92
問2 健康診断をどの程度の頻度で受診しているか <span style="float: right;">N = 157</span>					
(1)毎年受けている	53.5	68.6	49.2	35.4	66.3
(2)2年に1回、受けている	12.7	17.1	11.5	12.3	13.0
(3)ここ3年以上受けていない	22.9	14.3	25.4	38.5	12.0
(4)全く受けていない	10.8	-	13.9	13.8	8.7
回答者数(人)	82	24	58	23	59
問3 健康診断をどこで受診したか <span style="float: right;">N = 82</span>					
(1)学校・勤務先の健診	35.4	29.2	37.9	73.9	20.3
(2)区の生活習慣病予防健診・節目健診	46.3	37.5	50.0	17.4	57.6
(3)人間ドック	4.9	8.3	3.4	-	6.8
(4)その他	13.4	25.0	8.6	8.7	15.3
回答者数(人)	76	22	54	21	55
問4 健康診断結果をどの程度確認するか <span style="float: right;">N = 76</span>					
(1)全ての項目に目を通し、自分の健康状態を把握している	76.3	63.6	81.5	66.7	80.0
(2)自分にとって関心がある項目(例えば血圧、血糖値など)だけみる	7.9	9.1	7.4	4.8	9.1
(3)全体の評価が「異常なし」であれば、一つ一つの項目まで細かく見ない	13.2	22.7	9.3	28.6	7.3
(4)その他	2.6	4.6	1.9	-	3.6
回答者数(人)	75	22	53	20	55
問5 健康診断結果について保健指導を受けているか <span style="float: right;">N = 75</span>					
(1)個別で保健指導を受けている	28.0	40.9	22.6	5.0	36.4
(2)小グループで保健指導を受けている	2.7	4.5	1.9	10.0	-
(3)結果の説明のみを受けている(指導を受けていない)	34.7	27.3	37.7	15.0	41.8
(4)結果書とパンフレットなどの資料を渡されるだけで保健指導は受けていない。	14.7	9.1	17.0	20.0	12.7
(5)結果書とパンフレットなどの資料が郵送で送られてくるだけで保健指導は受けていない	20.0	18.2	20.8	50.0	9.1
回答者数(人)	69	21	48	16	53
問6 診断結果に改善項目があった場合に保健指導を受けるか <span style="float: right;">N = 69</span>					
(1)受ける	88.4	95.2	85.4	87.5	88.7
(2)受けない	1.5	-	2.1	-	1.9
(3)わからない	10.1	4.8	12.5	12.5	9.4

## 集 計 表

( % )

「健康診断・健康管理に関するアンケート」	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
回答者数(人)	8	1	7	2	6
問7 改善項目があった場合でも保健指導を受けない理由(複数回答) <span style="float: right;">N = 8</span>					
(1)診療所や病院に行く時間がない	50.0	100.0	42.9	50.0	50.0
(2)近くに適切な診療所や病院がない	12.5	-	14.3	-	16.7
(3)保健指導を受けても変わらないと思う	12.5	-	14.3	-	16.7
(4)放置しておいても、大丈夫な気がする	12.5	-	14.3	-	16.7
(5)はっきりした自覚症状が出るまで、治療や保健指導を受ける気がしない	12.5	-	14.3	50.0	-
(6)その他	25.0	-	28.6	-	33.3
回答者数(人)	69	11	58	39	30
問8 健康診断を毎年受けない、あるいは全く受けていない理由 <span style="float: right;">N = 69</span>					
(1)健診に行く時間がない	26.1	27.3	25.9	35.9	13.3
(2)健診場所が遠い	4.3	-	5.2	2.6	6.7
(3)既に治療を受けている	11.6	18.2	10.3	2.6	23.3
(4)現在、健康だから受けなくてよい	23.2	9.1	25.9	23.1	23.3
(5)その他	34.8	45.5	32.8	35.9	33.3
回答者数(人)	70	10	60	41	29
問9 制度変更後、健康診断を受診するか <span style="float: right;">N = 70</span>					
(1)受ける	62.9	70.0	61.7	58.5	69.0
(2)受けない	2.9	10.0	1.7	-	6.9
(3)その時になってみないとわからない	34.3	20.0	36.7	41.5	24.1
回答者数(人)	157	35	122	65	92
問10 健康診断費用を自己負担することについて(複数回答) <span style="float: right;">N = 157</span>					
(1)健診は自分の健康管理のためなので自己負担してもいい	19.7	31.4	16.4	15.4	22.8
(2)結果の説明やアフターケアの内容が充実していれば自己負担してもいい	42.0	40.0	42.6	27.7	52.2
(3)検査結果が充実していれば自己負担してもよい	52.9	40.0	56.6	53.8	52.2
(4)自己負担の額によって健診を受ける	48.4	34.3	52.5	53.8	44.6
(5)自己負担してまで、健診を受けたくない	6.4	5.7	6.6	10.8	3.3
(6)その他	7.0	14.3	4.9	3.1	9.8
問11 メタボリックシンドロームを意識しているか <span style="float: right;">N = 157</span>					
(1)気をつけている	74.5	74.3	74.6	61.5	83.7
(2)気をつけていない	25.5	25.7	25.4	38.5	16.3



## 集 計 表

( % )

「健康診断・健康管理に関するアンケート」	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
回答者数(人)	114	25	89	39	75
問12 メタボリックシンドロームにならないように気をつけていること <span style="float: right;">N = 114</span>					
(1)食生活	76.3	76.0	76.4	79.5	74.7
(2)運動習慣	19.3	20.0	19.1	17.9	20.0
(3)その他	4.4	4.0	4.5	2.6	5.3
回答者数(人)	157	35	122	65	92
問13 糖尿病予防対策として効果があると思うもの (複数回答) <span style="float: right;">N = 157</span>					
(1)糖尿病を正しく理解するための新聞・テレビなどを使った広報活動	61.8	60.0	62.3	61.5	62.0
(2)糖尿病を正しく理解するための健康づくり推進員などによる地域単位の広報活動	35.0	51.4	30.3	20.0	45.7
(3)個別や小グループでの運動指導	25.5	28.6	24.6	13.8	33.7
(4)個別や小グループでの食生活改善運動	35.7	34.3	36.1	27.7	41.3
(5)セミナーや講演会	33.1	45.7	29.5	32.3	33.7
(6)糖尿病の専門医や専門保健指導機関などの情報提供	59.2	60.0	59.0	56.9	60.9
(7)メニューのカロリー表示など、飲食店に対する協力依頼	49.0	25.7	55.7	52.3	46.7
(8)その他	10.2	17.1	8.2	9.2	10.9
問14 糖尿病予防対策の保健指導として望むもの (複数回答) <span style="float: right;">N = 157</span>					
(1)個別指導による直接支援	65.6	68.6	64.8	64.6	66.3
(2)集団面接(1グループ8人以下)による直接支援	25.5	28.6	24.6	16.9	31.5
(3)手紙、電話やEメールなどの間接支援	45.9	54.3	43.4	53.8	40.2
(4)その他	4.5	2.9	4.9	3.1	5.4

問15は記述回答のため割愛。